

東京 11 発走 15:25

第20回東京スポーツ杯2歳S(GIII) (2歳オープン) 馬齢

Table with columns for race number (11), track (芝), distance (1800m), and various horse statistics including name, sex, age, and performance data.

本紙の見解

東京歓迎のロスカボス
新馬、野路菊S連勝のロスカボス。共にスタートで出遅れ、道中追い通しながらゴール前は抜群の伸び脚。

11R

2歳2勝
プロディガルサン・ロスカボスの前走は、残り六百から11秒前半のラップを続けて...

芝1800

良1分45秒9
イスラボニータ
55 牝 名
25年11月16日

3連複
126
91011
126
91011
(30点)

3連単
126
91011
126
91011
(30点)

1マイルラフレシア(再度注)
高橋裕師直線包まれ、ゴール前しか競馬でできなかった前回だが、そのロスを考えては着差以上に強い競馬が取れた。

2歳戦向き
3111029
1048111
1024119
1049112

逃げたことがあるのはキラージョー(千通過65秒3)
超スロー必至。固まった馬群なら、位置取り不問の追い比べ。

11秒0のキラージョーとも
素質十分。レースぶり注目。
その他では、
重賞でも差があったカミライデン、時計見劣るダイワリアクションは、苦しそう。

Main race results table for the 11th race, showing horse names, jockeys, and performance metrics.

血を騒がせる山野浩一
今年のリーディングファーストシズンサイアー争いはかなり興味深い。ひとつはカジノドライヴが独走態勢に入っている、今もまだ首位をキープしているが、さすがに秋になるとワークフォースとプロディガルサンはキズナと同配合の成長力が優れたディープインパクト産駒で、さらに良くなる。

相木の単複
新馬は重馬場の超スロー、前回は時計勝負。異なる条件でねじ伏せるように2連勝のロスカボスは、父母両系とも底力十分、成長力あふれる系統。スケール上位だ。
2アグレアーブル(好勝負)
斎藤誠師「稍重の馬場でも、切れる脚を使えたのは収穫だった。競走馬らしく調整できなかった。中間は既着で調整してきたが、直前も鞍上に乗ってもらうし、ここでも能力は通用。
3ハレルヤボーイ(差なし)
田村師「前走は結果的に大事に乗りすぎた。中間は放牧を挟んだが、緩めておらず好仕上がり。相手は強化されるが、この

Table with columns for horse names, jockeys, and various statistics including speed and stamina.



成績欄の各馬の上がり時計で「レースの最速上がり」計測時は太字で表記することにしました。検討の際のご参考に...

見聞 スゴイ馬



小木曾大祐

マイルCSの結果は、財布にどんな変化を及ぼしているでしょうか？

まずは⑨Rからムーンレンジヤ。3走前の勝ち馬は、そこから3連勝して、今やオープン馬に。前々走の②着馬はずでに一千万勝ちを決めています。前走は久々もありますが、この馬にとっては上りが速すぎた競馬。スタミナを活かせるこの条件は好材料、休養前の対戦比較からも力上位は明らかで、改めての狙い撃ち。

好メンバーがそろった⑩Rからはハレルヤボーイ。出遅れから四角ひとマクリ。直線は独走状態だった前々走が強烈なインパクト。上りの速い競馬で馬込みからになった前走も、着順ほどの差はなく、こちらも再度の狙い撃ち。

競馬人情 吉川良

私は東京の下町生まれだが、30歳のころに赤坂の宝石会社に就職すると、札幌営業所勤務となり、北海道のほぼ全域へ出張をした。

ハタチ前から競馬が好きだったから、出張中に見かける競馬生産牧場の景色にはドキドキし、牧場の春夏秋冬、牧場の日常に興味を強く抱いた。

40歳すぎに競馬のことを文章にするようになり、それでいつそ牧場を訪ねたり、牧場で1年間の生活してみたりという人生になった。

そんなふうにして牧場の空気を吸えば吸うほど感じてくるのは、競走馬として生まれてきた

ジョッキータンク	率	10傑	調教師	率	10傑
ルメ	.198	藤原	.211	堀英道	.175
①M	.182	②藤友	.175	③池永幹	.154
②福	.164	④池永幹	.146	⑤松木野久高	.143
③M	.159	⑥池永幹	.142	⑦保田柳	.132
④福	.140	⑧池永幹	.123	⑨保田柳	.122
⑤福	.134	⑩池永幹	.119	現在	.119
⑥福	.131	現在	.115	現在	.115
⑦福	.111	現在	.115	現在	.115
⑧福	.106	現在	.115	現在	.115
⑨福	.105	現在	.115	現在	.115
⑩福	.105	現在	.115	現在	.115
平地	50勝以上				

トウワスの

◎第35回ジャパンC登録馬◎

- イトウ独 ミナリク
- イラブト仏 バスキエ
- トリップトゥパリス英 Tベリ
- ナイトフラワー独 シュタルケ
- アドマイヤデウス 岩田
- カレンミロティック 蛸名
- ゴールドシップ 横山典
- サウンズオブアース Mデム
- ジャングルクルーズ 北村宏
- ショウナンパッパ 戸崎
- ショウナンバンドラ 池添
- ダービーファイズ 田辺
- ヒットザターゲット 小牧太
- ベルリサ ルメール
- ミッキークイーン 浜中
- ラストインパクト ムア
- ラプリーデイ 川田
- ワンアンドオンリー 内田博
- 〔除外対象馬〕スーパームーン
- \*登録19頭(フル18頭)

1頭が、いろいろな競馬場のレースに出走するまでにこぎつけても、1勝するのは大変なことだなあとこの思いである。

東スポ杯2歳Sをむかえて、そんなことをあらためて考えたのは、ナカヤマフェスタ、ローズキングダム、サタムパテック、ディープリランテ、コデイナー、イスラポニータ、サトノクラウンと、東スポ杯2歳Sの勝ち馬を浮かべてみると、東スポ杯2歳Sのゲートに入る馬は、私にはもう特別な馬のように思えるのだ。出走馬主は、ひよっとして自分の馬が、GI馬になるかもと、なにやら眩しい夢を見ていることだろう。

東スポ杯2歳S。デビュー戦を見たときの涙みが消えないアグレイトブルから馬単②④①⑨の2点。